

2025 年 3 月 18 日 第 1 版

研究協力をお願い

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、各研究機関の長の許可を受けたうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学病院 化学療法センター

耳原総合病院 腫瘍内科科

記

研究の名称	OGSG1602「多剤併用療法が適さないRAS 野生型切除不能進行再発大腸がんに対する一次治療としてのパニツムマブ単剤療法」の附随研究 メチル化ステータスにおける効果予測因子および予後因子に関する探索的研究（OGSG1602M）		
対象	2017 年 2 月 9 日から 2018 年 8 月 1 日までの期間に OGSG1602「多剤併用療法が適さないRAS 野生型切除不能進行再発大腸がんに対する一次治療としてのパニツムマブ単剤療法」に登録された患者さんの治療効果に関する情報を研究に利用いたします。本学では、8 例（共同研究機関全体で 35 例）を予定しています。		
研究期間	研究実施許可日	～	2026 年 12 月 31 日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	利用目的：多剤併用療法が適さないRAS 野生型切除不能進行再発大腸がんに対する一次治療としてのパニツムマブ単剤療法を受けた患者さんの病理組織を利用して効果予測因子（治療効果に関連する因子）を明らかにします。パニツムマブ単剤療法の効果が不良である症例の効果予測因子を明らかにすることで、今後の新規治療開発にとっても有用なデータになります。 利用方法：患者さんの病理組織で効果予測因子となる項目を抽出し解析を行います		

	または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、この研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。 当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。
--	--

研究者名

【研究代表者】

大阪医科薬科大学病院 化学療法センター	センター長	山口 敏史
---------------------	-------	-------

【共同研究機関・研究責任者】

独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター	消化器内科	長谷川 裕子
大阪府済生会千里病院	消化器外科	福崎 孝幸
独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院	外科・消化器外科	鄭 充善
関西電力病院	腫瘍内科	柳原 一広
独立行政法人労働者健康安全機構 関西労災病院	消化器外科	安井 昌義
近畿大学病院	腫瘍内科	稲垣 千晶
神戸市立医療センター中央市民病院	腫瘍内科	安井 久晃
堺市立総合医療センター	大腸肛門外科	能浦 真吾
医療法人薫風会佐野病院	消化器がんセンター	小高 雅人
地方独立行政法人 市立東大阪医療センター	消化器外科	中田 健
兵庫県立西宮病院	消化器外科	福永 睦
耳原総合病院	腫瘍内科	中江 史朗

参加拒否の申し出について

ご自身の試料や診療情報を研究に利用させて頂くことに対する問い合わせ、参加拒否を申し出たい場合は、下記の連絡先までお願いいたします（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。参加拒否の申し出をされた場合は、研究の対象から削除し、研究利用をいたしません。しか

提供責任者：稲垣 千晶

研究機関及び研究機関の長：近畿大学病院 東田 有智

提供責任者：安井 久晃

研究機関及び研究機関の長：神戸市立医療センター中央市民病院 木原 康樹

提供責任者：能浦 真吾

研究機関及び研究機関の長：堺市立総合医療センター 大里 浩樹

提供責任者：小高 雅人

研究機関及び研究機関の長：医療法人薫風会佐野病院 佐野 寧

提供責任者：中田 健

研究機関及び研究機関の長：地方独立行政法人 市立東大阪医療センター 中 隆

提供責任者：福永 睦

研究機関及び研究機関の長：兵庫県立西宮病院 野口 眞三郎

提供責任者：中江 史朗

研究機関及び研究機関の長：耳原総合病院 河原林 正敏